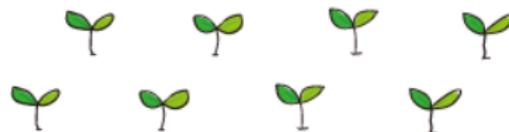


# 第1章 はじめに

(この本のねらい、使い方)



「はじめに」では地域づくりのどんな場面で、この本『なばり まちブック』が役に立つのか、使えるのかをやさしく書いています。この本は、前から全部を読み通すのもいいのですが、必要な部分をまず読んでみてください。それからまた関心ある頁を開いて見てください。参考になる何かが発見できるでしょう。

## この本の使い方

みなさんは自分のまちでの暮らしを楽しんでいらっしゃいますか。安心して暮らせること、生活に便利なこと、まちの風景が美しいこと、住民どうしの自然なつながりがあったり、元気で活発なサークルや集まりがあること、などなど。このような暮らしを続けて行くためには、多くの関係者(住民、地域づくり組織、基礎的コミュニティ、企業・事業者、行政等)が、それぞれの役割を担いつつ連携し協働していく必要があると考えられます。

名張市では、これまでの基礎的コミュニティ(区・自治会)や市民公益活動やボランティアなどが果たしてきた公共的活動を総合化する仕組みとして、地域づくり組織が形成されました。これによりさまざまな団体の力を補完し合える総合的な仕組みになり、地域課題にもトータルな対応が可能となりました。

地域づくり組織が形成されて約十年が経過し、組織や活動についてふりかえりを行ったり、後継者にその趣旨を説明する必要も出てきたりする時期であると思われます。この『まちブック』は、そのような時に参照すると、わからないことが確認できたり、ヒントをもらうことができたりするでしょう。具体的には、

- ・地域づくり組織が新しい動きや課題に出会ったとき、活動の原点を確認し、みずからを振り返り、あるいは行動へのヒントを得るために参照するものとして
- ・総会や理事会などで、組織や活動・事業について話し合うときのテーマの一覧とし

て

- ・役員が交代したとき、地域づくりの理念、精神や活動・事業の引き継ぎの際に確認したい基本的考え方として
- ・新しい役員や部会員を募集したり、一般住民の方に地域づくり組織の意義を説明したりするときのテキストとして
- ・まちづくりに関して、みんなで話し合い、考えを高め、新たな展開を生み出すよりどころになるものとして

使っていただけます。

さらに、最後のチェックリストは、地域づくり（まちづくり）活動が節目を迎えたとき、壁に当たったとき、方向の転換や新規事業を検討しようというときに、役員をはじめとする関係者が話し合うときの〈指標〉＝〈チェックシート〉という“道具”です。そこから参考になる何かを発見することができるかもしれません。活用していただければ幸いです。

### 地域カルテとセットで

この『まちブック』は、全市や地域ごとの情報を整理した、『なばり 地域カルテ』とセットになるものです。地域の実態、データについてはそちらをご覧ください。

今後、地域からの声を反映し、さらに実態に合った使いやすい『まちブック』に育てて行って欲しいと思います。その意味で、成長する本と言えるでしょう。

